

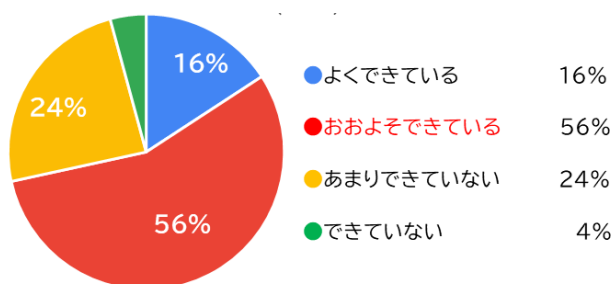
西小CSアンケート(地域・保護者)集計結果のまとめ

令和5年2月21日

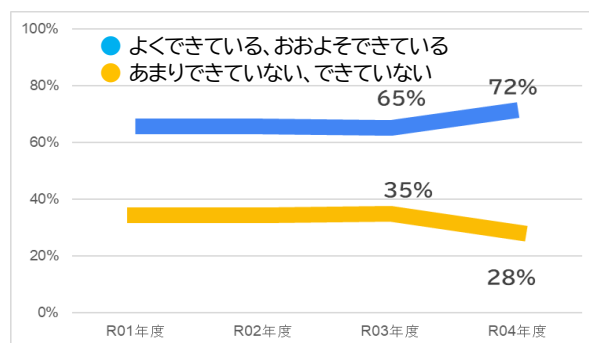
西小学校運営協議会

- 1 調査期間 令和4年12月6日～令和5年1月10日
- 2 調査対象 西小学校保護者、葛野報徳自治振興会委員、学校支援ボランティア、学校運営協議会委員
- 3 回答者数 合計95名(保護者:55、支援ボランティア:8、自治振興会委員:17、学校運営協議会:4、教職員11)
- 4 集約結果 ※設問は要約しています。また、自由記述は文意を損なわない程度に編集させていただきました。

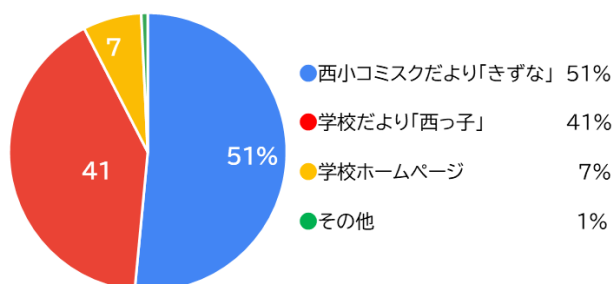
【グラフ1】西小CSの活動は、周知できているか



【グラフ2】周知度の回答推移(令和元年～令和4年)

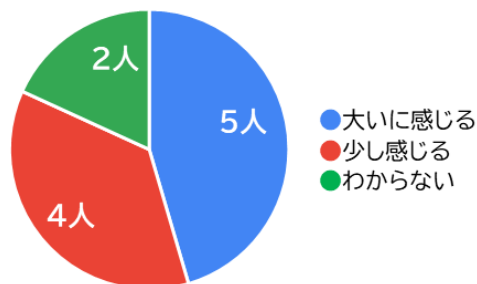


【グラフ3】西小CSの活動は、何で知りますか？



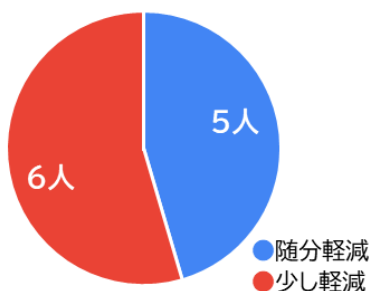
【グラフ4】CSの活動で児童は変わりましたか？

(職員対象)



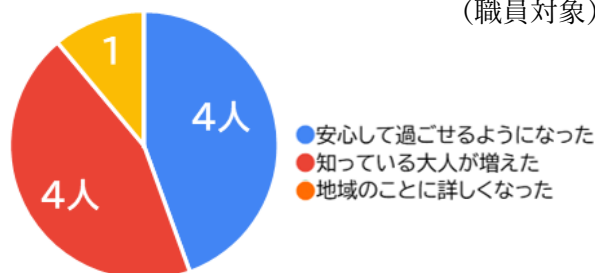
【グラフ5】先生の負担は変化しましたか？

(職員対象)

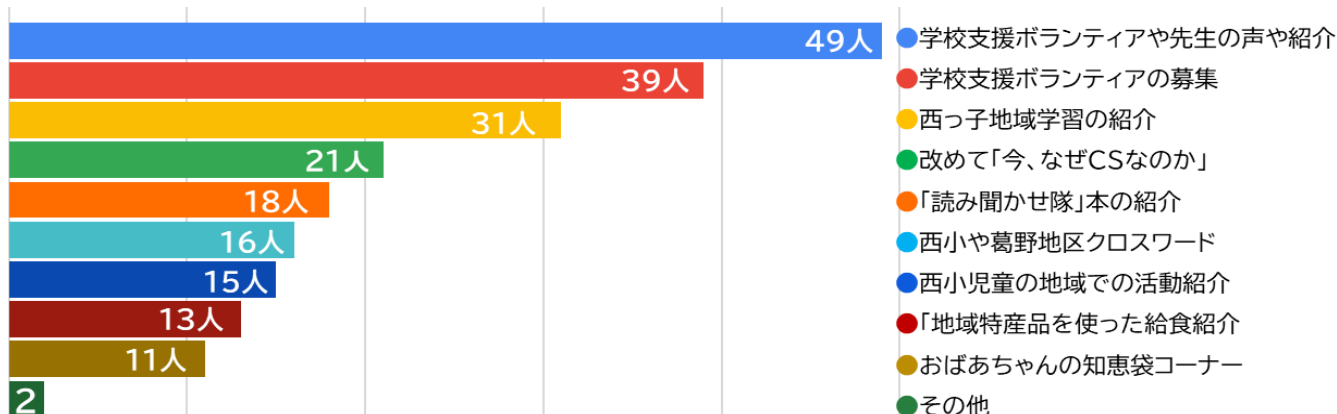


【グラフ6】子どもはどのように変化しましたか？

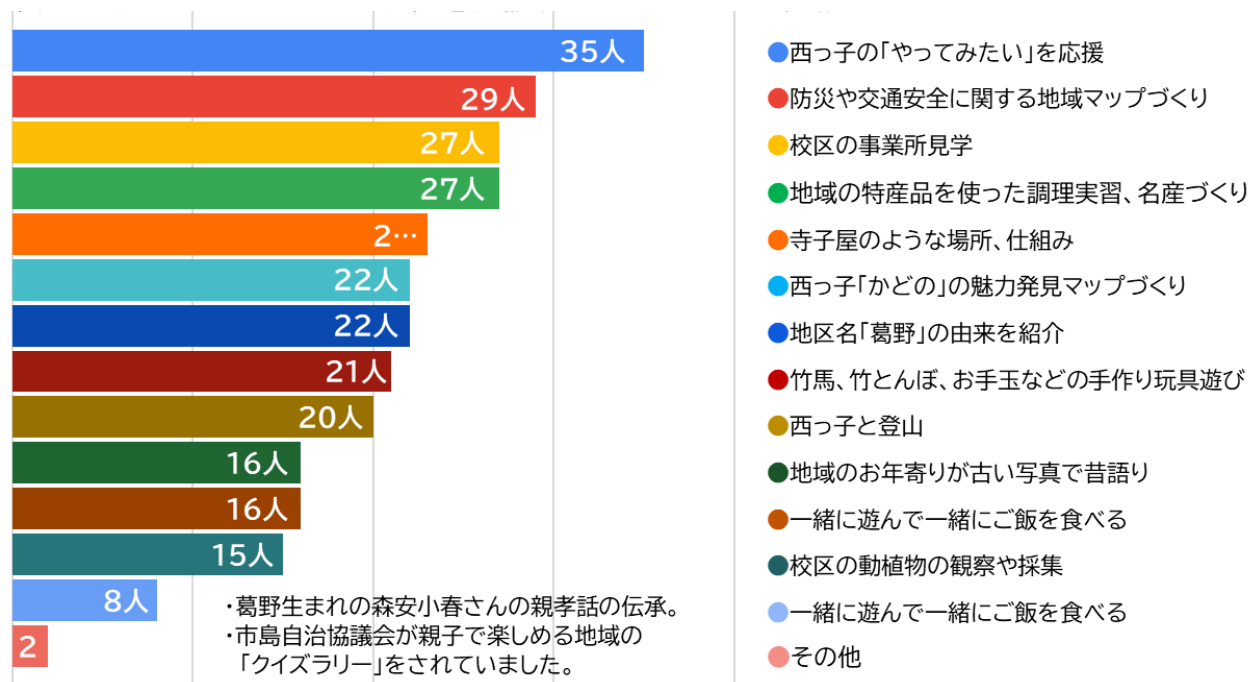
(職員対象)



【グラフ7】CSだより「きずな」などを充実させる記事や特集のアイデア



【グラフ8】 地域の大人が西っ子の成長を支援するためにできる活動



【自由記述欄にいただいたご意見やご感想】

【保護者】

- 支援員さんはよく頑張っておられるが、一人に負荷がかかっており、体制的にやや不安が残っていると感じています。世代を超えて、20代30代の在住OBにも募集を声かけしてはいかがでしょうか？
- 先生方の負担を少なくして、子ども達の為に地域でできることは地域で負担し、先生方には子どもに向き合える時間をもっといただけたらとても良い活動だと思います。もっと保護者の協力があってもいいと思います。
- 校内学習も当然大事ですが、社会見学や自分の住む地域の特色や魅力を知って、葛野、氷上、丹波を自慢出来る様に、遊びながら学習出来る様な事が出来たらいいなと思います
難しいと思いますが、登山やキャンプ、神社仏閣巡りなど。
- 「西っ子と登山」を推奨します。西地区は山に囲まれているのに気軽に登れる、またシンボルとなるような山がありません。コミュニティ・スクールが単独でできるものではないと思いますが葛野報徳自治振興会に協力をしてもらい、小学校の裏山？になる「もりやま」をシンボル山となるように登山道を整備し、また山頂の木々を伐採し360度とはなりません葛野中が見渡せるような場所にならないでしょうか？標高も320mくらいで春日町にある黒井城跡と変わりません。登山道の状況にもよりますが子どもから高齢者まで登れる高さですし、家や登下校だけでは経験できないものが山にはあると思います。
コミュニティ・スクールに要望する内容ではないと思ったのですが、このような機会があったので書かせて頂きました。地域で連携して取り組めれば、子どもの活動の場所も広がり山頂から西地区が見渡せるという普段と違う景色を見ることができます。できれば、今は登山人口も増えているので、地域外の登山者が訪れかどのの郷を利用されるなど西地区の魅力発信の機会にもなるのではないのでしょうか。

- コミュニティ・スクールでは地域のたくさんの方々に一緒に活動していただきお世話になり本当に感謝しています。子どもたちの成長の糧になっておりますし、学びの場になっております。これからもどうぞよろしくお願いします。
- 地域の方との交流や学習をすることは、いろいろな方と関わったり、地域のことを知れたりして、子どもたちにとってとてもよい機会だと思います。先生方ではわからない地域の魅力や良さを地域の方で伝えたり、サポートしたり、みんなで子どもを育てる活動はとても素敵だと思います。
- ボランティア、行事の運営サポートなどお忙しい中、子どもたちや保護者、先生方のために力を貸してくださっていることに、本当に有り難いと思います。
- 西っ子 NFT を作ろう
- いつも子ども達のために、ありがとうございます。
- コミュニティ・スクールだより、いつも楽しく読ませていただいています。活動内容がとてもよく分かります。地域の方に支えてもらっているなど感謝しています。ありがとうございます。

【学校支援ボランティア】

- CS のことはよくわかりませんが、地域の人達が子どもたちの成長にかかわることはよいことと思っています。
- 各関係者の方々の支援で西っ子が勉学に遊び等々に元気に学び成長していると思います。
- 地域における子どもの数が減少し、コミュニティ・スクール等に感心のない家庭が増えている。昔は学校から帰るとあぜ道等で子どもの声が聞こえていたが、今では近所に子どもが居ないのとコロナ禍で村の中が静まりかえっている。
自然災害が年々増えているが、学校に居る時は学校が避難場所になるが、家庭にいる時は、一体何処へ避難すればいいのか、父兄も分かっていないと思う。機会を見て、自治振興会、警察、消防、父兄を集めて合同訓練をしたらいいと思います。
- 昨年もアンケートしましたが、内容を集約されたものがホームページに記載とのことですが、見ておりませんので、皆さんがどうおもわれているのかわかりませんでした。面倒かと思いますが、会議資料で使われたものをアンケート依頼者にも教えていただいたら、活動が充実すると思います。
- 平成 25 年に着任された元校長畑義一さんが、(森安小春さんを)児童に熱心に教えられた過去があります。体育館のロビーにも額があがっているので、上級生は少しは知っていると思いますが、今後も継続して火を消すことのないように伝承していただきたいと思います。育たれた多可町市原とは、ご縁のある地域で、県道こはるロードの名称がついているのも活動の成果です。
- 若いお父さんやお母さんは日々お忙しいので、やはり CS 活動の中心はシルバー(プラチナ)世代が中心になると思います。葛野地域の方は、自ら参加するということをされないという地域性があるのではないかと思いますので、自ら参加できるような方法を考えていけば、もっと絆が深まると思います。

- マップ作りは、各地区の紹介シリーズで、その村の子ども達で作り上げ「きずな」で紹介。例えば中野だったら、奴(やっこ)、愛犬紹介、名物おじさん、おばさんとか身近な材料を子ども目線で(村の秘密場所とか)取り上げたら楽しい読み物ができるのではないのでしょうか。

【葛野報徳自治振興会委員】

- 名称がカタカナで、活動がわかりにくい。「子どもを学校と地域で育てよう」など伝わりやす名称が欲しいなあと思いました。お世話になっていますがよろしくお願いいたします。
- ウォーキングパトロール隊の皆さん朝早くから1年を通して通学見守り本当にご苦労様です。朝一番に子どもたちを観ていただくので、この子元気がないなとかちょっとおかしいなあ〜と早目に気付かれる時があると思うので、先生にも情報を共有していただいたら嬉しいです。ささいな仕草でいじめられているなあ〜という事もわかるのではないかと思います。
- 「ささがみね」に紹介するコーナーを設けては？「ささがみね」は内容が充実して、お互いよくなるのでは、ないでしょうか。
- 毎月の西小CSだより「きずな」を見て活動の様子がよくわかります。防災に関する地域との安全、西小との安全を地域マップ作りを大人、子ども、老人、振興会と通じて応援ができるとよいのではないかと思います。
- 葛野の良さとして、次の2点教えて伝えてほしい。
 - ①清住の山中の川に天然のひらべ、あまごが生息していること。
 - ②中野分水、大正時代に行われた治水工事、三方と清住の地下水を中野で集めてかどの川の下に水路を造り大谷と上新庄に農業用に活用した。その水は今も活用されていること。今みたいに重機がないとき、手作業で10年程かけてなし得たことです。大変な工事だったと推測します。西の子どもたちに繋いで伝えてほしいです。CSの感想とはすこしはなれましたが、お願いします。ヨロシクお願いします。

【学校運営協議会委員】

- 西小の子ども達と森山への登山。
- 子ども達が地域の方と一緒にふれあい、一緒に作業出来ることがとってもいい事だなあと思います。西小コミスク「きずな」楽しみに読んでいます。これからもよろしくお願いします。私もボランティアを出来るだけお手伝いしたいと思っています。
- この活動が西小っ子の成長にどのように寄与しているのか。評価、反省等々していきたいです。先生方からのコメント(評価)が欲しいです。西小の先生方、又CSの活動の理解がどの程度あるのかも知りたいです。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

集約結果は2月16日の学校運営協議会で検討しました。今後の活動計画に活かしていきます。今後とも、よろしくお願いいたします。